



生活排水処理状況に関する調査結果

岡都市計画課下水道係 ☎028(677)6021

町では、生活排水処理構想に基づき、公共下水道事業で町全体の約4割、農業集落排水事業で約2割、合併処理浄化槽整備事業で残りの4割に区分し、それぞれの地域に適した生活排水処理を推進しています。

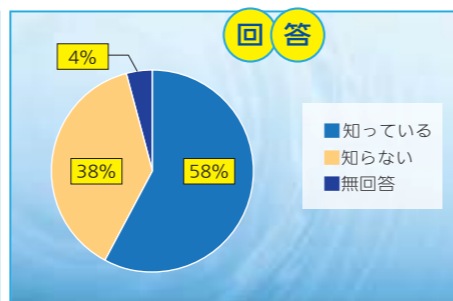
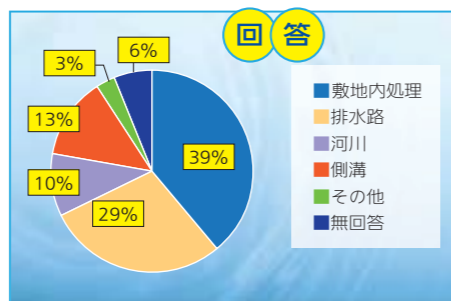
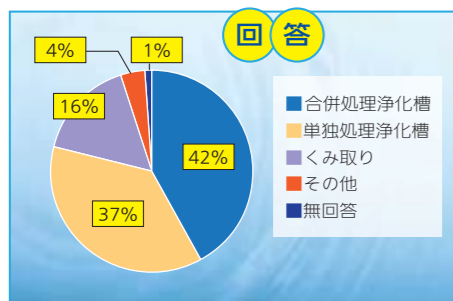
今回の調査は、合併処理浄化槽の処理区域の世帯を対象に生活排水処理状況を把握し、今後の事業運営の基礎資料とするため実施しました。

調査結果

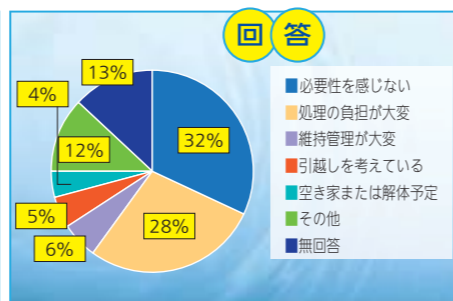
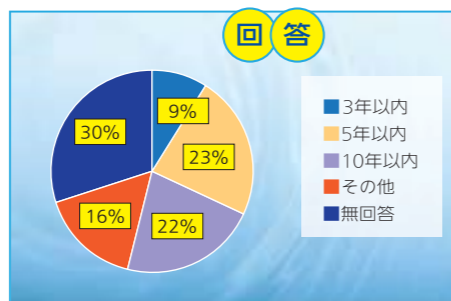
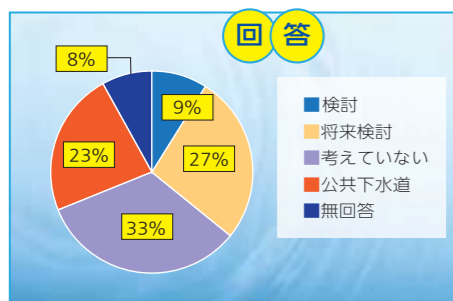
※調査対象1,722件中回答をいただいた922件分の結果です。ご協力ありがとうございました。

※問2以降は単独処理浄化槽およびくみ取り式トイレ利用世帯のみの回答です。

問1 あなたのお宅のトイレはどのように処理していますか。 **問2** あなたのお宅の台所やお風呂の水は、どこに放流していますか。 **問3** 合併処理浄化槽を設置する際に補助金を交付していることはご存知ですか。



問4 今後合併処理浄化槽への入れ替えを検討されていますか。 **問5** 将来的な入れ替えとはいつ頃を予定していますか。 **問6** 合併処理浄化槽への入れ替えを考えていない理由を選んでください。



多くの世帯で単独処理浄化槽またはくみ取り式トイレを利用中であるという現状が浮き彫りとなりました。また、トイレ以外の生活排水を側溝などに直接放流している世帯も多く、河川の水質汚濁にもつながっていると考えられます。ぜひ、合併処理浄化槽への入れ替えをご検討ください。

合併処理浄化槽設置費補助金について

町では、公共下水道事業の認可区域および農業集落排水事業の区域以外の専用住宅を対象に、生活排水を衛生的に処理し、河川等の水質を保全・向上することを目的として、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への入れ替えを促進するため、合併処理浄化槽設置費の一部を補助しています。また、単独処理浄化槽や便槽の撤去、20メートル以上の放流管の布設、敷地内浸透装置設置の工事費についても、費用の1/2(上限10万円)を補助しています。ぜひご利用ください。平成29年度分の補助金については、広報はが4月号で詳しくお知らせする予定です。

町内産「にっこり梨」 トップセールス



岡農政課農業振興係 ☎028(677)1110

芳賀町産の「にっこり梨」が、マレーシアに輸出されています。これは、栃木県が昨年2月に策定した「とちぎ農産物輸出戦略」で平成32年度に農産物輸出額3億円達成を掲げ進めている事業の1つです。今年度は、栃木県全体で5,000ケース(25,000玉)を輸出し、うちJAはが野管内の「にっこり梨」は約2,000ケースを占めます。

見目町長の就任以来の希望であった梨の輸出が、栃木県の戦略と一致し実現したことを受け、今年1月にマレーシアを訪問し、海外プロモーションと町内産「にっこり梨」の販売状況の視察を行いました。



▲現地バイヤーとの打ち合わせ



▲現地スーパーマーケットでのプロモーション▲



- 視察日程 1月23日(月)～26日(木)
- 場所 クアラルンプール(マレーシア)
- 訪問者 見目町長、農政課 山本課長、稲川主事
- 現地調査結果

「にっこり梨」の保管は、食品衛生管理の国際基準であるハサップ(HACCP)に基づいて適正に管理されていました。また、店頭では2個入りの箱で、販売価格は日本国内のほぼ2倍で高級品として販売されていました。

今年の「にっこり梨」の品質は、8月の異常気象の影響で例年より品質の低下が見られたため、現地消費者の反応が心配されていたようでしたが、栃木県のプロモーション効果により、1月末までには完売できました。

見目町長のコメント

農産物のトップセールスをマレーシアで初めて行いました。今後は、バイヤーの要望や現地で感じた消費者の様子を生産者に伝えていきたいと考えています。そして、輸出を含めた梨生産戦略を話し合い、梨生産者と共に町の特産品として「にっこり梨」のブランド力を高め、生産量日本一を目指していきます。